
神々の秘密

紅このは

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神々の秘密

【著者名】

NZコード

N1571S

【作者名】

紅このは

【あらすじ】

「神々の箱庭」シリーズの設定集です。随時更新。

エルム

名前：エルム

真名：不明

登場作品：「レーゼの神」

性別：メス

年齢：不明（人型の時は20代後半くらい）

種族：ドラゴン（古代竜）

世界：レーゼ

身分：無し

外見：真っ白な鱗に金の瞳。人型の時はウェーブがかつた白髪に、同じ金の瞳をしている。スラリとしたナイスバディなお姉さん。

体長：10m以上

特技：光の魔法、魔術

能力：全ての魔法、魔術

好きな事・物：子供、ウイスター

嫌いな事・物：身勝手な者

備考：光の古代竜。子供に甘く、夫に厳しいママ。

カーマイン

名前：カーマイン

愛称：マイン

真名：クリムゾン

登場作品：「レーぜの神」

性別：オス

年齢：0歳（初登場時）、人型の時は7歳くらい

種族：ドラゴン（古代竜）

世界：レーぜ（カリリスト出身）

身分：無し

外見：濃い赤色の鱗に金の瞳。人型の時は鱗と同色の髪に、同じく金色の瞳。肌は褐色をしている。

体長：片手で持ち上げられるサイズ（初登場時）

特技：火の魔法、魔術

能力：全ての魔法、魔術

好きな事・物：辛い食べ物

嫌いな事・物：クモ

備考：火の古代竜。カリリストからの転生者。ウイスタリア（千歳）と契約した。関西弁。

クロム

名前：クロム

真名：不明

登場作品：「レーゼの神」

性別：オス

年齢：不明（人型の時は20代後半くらい）

種族：ドラゴン（古代竜）

世界：レーゼ

身分：無し

外見：真っ黒な鱗に金の瞳。人型の時は短めの黒髪に、同じ金の瞳をしている。筋肉質だがマッチョではない。イケメン。

体長：10m以上

特技：闇の魔法、魔術

能力：全ての魔法、魔術

好きな事・物：エルム、ウイスター

嫌いな事・物：身勝手な者、エルム（苦手）

備考：闇の古代竜。

グレン・ヒルレンゼ（前職）

ネタバレありです。

グレン・エルレンド

名前：グレン・エルレンド

正式名：グリエント・ハルド・コダ・ホーレンス・エルレンド

登場作品：「エルレンド王国記」

性別：男

年齢：（初登場時十五歳）メイン二十五歳

種族：人間

世界：ロキオ

身分：エルレンド王国第四王子（のちに第二王子、元帥）

外見：炎な赤紙に碧眼。男らしいガツチリとした体躯をしている。

……とはいえたがゆる「ロマッショではない。

身長：187cm

特技：剣術、槍術、戦術を考える事

能力：炎の魔術

好きな事・物：鍛練

嫌いな事・物：卑怯者（とはいっても、卑怯も戦術の一つであるとは理解している）

備考：母は王妃の侍女だった。主に軍事担当。私軍は“赤軍”^{せきぐん}。赤虎^{せきこ}とも呼ばれる。

紫苑（前書き）

ネタバレあります。

紫苑

名前：紫苑しづのん

本名：アークレイ・カザシス・オディリア

登場作品：「懲獄門の門番」

性別：男

年齢：17歳

種族：人間（神の血を引いているが）

世界：セラート（物語開始時はソロノア）

身分：オディリア帝国の皇族の最後の一人、“懲獄門”の門番ブリズン・ゲート

外見：童顔で女顔。体型は男であるため男にも見えなくはないが、初対面では確実に間違われる。濡れ羽色の髪に真紅の瞳。

身長：158cm

特技：天然の毒舌

能力：超能力（念動力、サイコキネシス 防御結界、シールド 魔法結界、バリア 絶対領域、テリトリー ブリズン・ゲート

精神感応、未來予知、テレパシー 言霊、プレコグニション 自己治癒、スピリット・セラフ・ヒーリング 再生など）リジョン・リジョン

好きな事・物：果物、自分の信念を貫こうとする人

嫌いな事・物：醜いもの

備考：セラートの神ユアンの息子、イアンの子孫（曾孫くらい）で、寿命はかなり長い。その影響で15歳くらいに成長がと待てしまつたのだが、実際にはそれよりも幼く見える。魔力は桁外れだが、魔術よりも超能力に特化している。育ての親は蘇芳すおうというオッサン。万が一能力が使えなくなつた場合を想定してあらゆる武道の訓練を受けている。

シャモア

名前：シャモア

神名：^{しんめい}無し

登場作品：「レーゼの神」

性別：男

年齢：実年齢は世界と同じだけ、外見年齢はこころが変わる

種族：神

世界：“空の神殿 『ロアージュ』”

身分：最高神

外見：どの外見年齢であっても金髪金目。千歳ほどではないものの、神秘的な美しさを持つ。にもかかわらず、威圧感はすごい。普通の人間であれば口をきくどころか動く事もできないほど。

身長：変化するため計測不可能

特技：二つの事を同時に行う事

能力：他の神々と同じだが、どれも数段上
好きな事・物・自分と普通に話してくれる人
嫌いな事・物・自分で考えて行動しない人

ヒュノス・ヘルレンド（前書き）

ネタバレあります。

ヒュノス・エルレンド

名前：ヒュノス・エルレンド

正式名：ヒューノロス・サイエン・フォン・アーノイル・エルレンド

登場作品：「エルレンド王国記」

性別：男

年齢：（初登場時十一歳）メインは二十一歳

種族：人間

世界：ロキオ

身分：エルレンド王国第五王子（のちに第三王子、外務大臣）

外見：光り輝く金髪に碧眼。体格はユーファとグレンの中間辺り。

身長：175cm

特技：魔術、剣術（レイピア）

能力：地の魔術、光の魔術、木の魔術

好きな事・物：研究（その時々によつて何の研究かは変わる）

嫌いな事・物：邪魔者

備考：母親は旅の踊り子だった。主に外交担当。私軍は“金軍”。
金狐とも呼ばれる。

ミーナ・ヘルンド（前書き）

ネタバレあります。

ミーラー・エルレンド

名前：ミーラー・エルレンド

正式名：ミルレーナ・ティラーダ・アン・フェリシア・エルレンド

登場作品：「エルレンド王国記」

性別：女

年齢：（初登場時八歳）メインは十八歳

種族：人間

世界：ロキオ

身分：エルレンド王国第一王女（のちにウェイズ王国王妃）

外見：ユーファと同じく銀髪碧眼。

身長：161cm

特技：馬術

能力：治癒術

好きな事・物：子供、かわいいもの、甘いもの

嫌いな事・物：お化け

備考：私軍は“白軍”^{はくぐん}といい、ほとんどが治癒術師で構成されている。^{ぎんちょう}銀鳥とも呼ばれている。かなりのお転婆。

ユーファ・ヘルレンド（前書き）

ネタバレあります。

ユーファ・エルレンド

名前：ユーファ・エルレンド

正式名：ユーリファス・ハルド・ユダ・ホーレンス・エルレンド

登場作品：「エルレンド王国記」

性別：男

年齢：（初登場時17歳）メインは27歳

種族：人間

世界：ロキオ

身分：エルレンド王国第三王子（のちに第一王子、財政大臣）

外見：青みがかった銀髪に碧眼、白い肌。

身長：179cm

特技：お金の扱い方

能力：風の魔術

好きな事・物：ミレーナ、お金儲け、一人でのんびりする事

嫌いな事・物：何を考えているのかわからない人、グロテスクなもの

備考：母親は商人の娘。主に財政担当。私軍は“銀軍”ぎんぐん。銀狼ぎんろうとも呼ばれる。

千歳

名前：**千歳**

神名：**ウイスタリア**

愛称：**ウイリア**

登場作品：「**レーゼの神**」

性別：男

年齢：（外見）18歳（元）15歳（初登場時）

種族：神（元人間）

世界：レーゼ（アーノス出身）

身分：レーゼの神

外見：濡羽のような漆黒の長髪に、金の線が入った銀の瞳、真珠のような肌。中性的な顔立ちだが、華奢な体をしているので女に間違えられやすい。声はアルト。他に類を見ない美貌を持つ。

身長：178cm

特技：早寝（最速五秒）

能力：全ての能力を扱えるが、生き物を創り出す事はできない

好きな事・物：寝る事

嫌いな事・物：睡眠妨害、面倒な事、女と間違われる事（半分あきらめている）

由希

名前：由希

登場作品：「異世界聖魔譚」
ゆき

性別：女

年齢：16歳

種族：人間

世界：リアンデール（アーノス出身）

身分：勇者

外見：黒髪黒目の（リアンデール基準で）小柄な少女。かわいらしき顔をしているのだが、本人は自覚なし。相手の気持ちには鋭い方。

身長：157cm

特技：空手、柔道、剣道、弓道

能力：魔法（特に光魔法）

好きな事・物・体を動かす事、食べる事

嫌いな事・物：食べ物を粗末に扱う人、虫

備考：梨緒の妹。他人を引きつける才能を持つ。梨緒が異世界に来る際、一緒にいたためについて来てしました。

ラウリリアス

名前：ラウリリアス＝ハラウド
神名：^{しんめい}ラウリリアス

愛称：ラウル

登場作品：「エルロンド王国記」

性別：男

年齢：（外見）20後半

種族：神（元シユナ族）

世界：ロキオ

身分：ロキオの神

外見：褐色の肌に金の髪と瞳。右目から頬にかけて一本の爪のような傷跡がある。獅子のシユナ族。

身長：198cm

特技：力業

能力：全ての能力を扱えるが、生き物を創り出す事はできない
好きな事・物：思い切りのいい奴、ハツキリした奴、肉
嫌いな事・物：女々しい男、野菜

ラピス

名前：ラピス

真名：ラピスラズリ

登場作品：「レーゼの神」

性別：メス

年齢：0歳（初登場時）、人型の時は7歳くらい

種族：ドラゴン（古代竜）

世界：レーゼ（ロステイ出身）

身分：無し

外見：濃い青色の鱗に金の瞳。人型の時は鱗と同色の髪をツインテールにしている。瞳も同じ金色。

体長：片手で持ち上げられるサイズ（初登場時）

特技：水の魔法、魔術

能力：全ての魔法、魔術

好きな事・物：かわいいもの

嫌いな事・物：お化けとか怖いもの

備考：水の古代竜。ロステイからの転生者。ウイスタリア（千歳）と契約した。

梨緒

名前：梨緒

りお

登場作品：「異世界聖魔譚」

性別：女

年齢：十八歳

種族：魔族（元人間）

世界：リアンデール（アーノス出身）

身分：魔王

外見：銀の髪に紫の目。元々は黒髪黒目であった。かなりの美人だが、人付き合いがほとんどなかつたため本人は全く気付いていない。天然タラシだつたりする。

身長：160cm

特技：速読、記憶する事

能力：魔族の子供を産む事、魔法全般

好きな事・物：本

嫌いな事・物：高慢な女、無知な人

備考：自力で魔力を作れないため、他人から魔力をもらう必要がある。男限定だが、人間からもらう事もできる。魔王の魂を持つため、幼い頃からリアンデールの言葉がわかつたり古代語の歌をうたつていたりした。

璃寛

名前：

璃寛

神名：

無し

登場作品：「レーゼの神」 「異世界聖魔譚」

性別：男

年齢：（外見）19歳（実年齢は不明）

種族：神（元人間）

世界：アーノス（リアンデール出身）

身分：アーノスの神

外見：襟元まである薄茶色の神に、淡い空色の瞳。アイドル顔負けの美貌だが、なぜか印象に残らないという不思議な人物。常に微笑を浮かべている。

身長：183cm

特技：変身魔法

能力：全ての能力を扱えるが、生き物を創り出す事はできない

好きな事・物：下界の散歩

嫌いな事・物・身の程知らずで高慢な生き物

リューシャ

名前：リューシャ

正式名：リューシャ・セナ・アルファン

登場作品：「はちみつ色の姫」

性別：女

年齢：十六歳

種族：人間（魔技人）

世界：フェルリア

身分：アルファン王国第一王女、魔技人の長、最上級魔導師

外見：癖毛でふわふわした腰まである金髪に、はちみつ色（薄いオレンジ）の瞳。ガラス細工のように纖細な人形のように見える。

身長：154cm

特技：天然で答えにくい話題を回避する

能力：魔導

好きな事・物：はちみつを使ったお菓子

嫌いな事・物：苦いもの

ルシェル・エルレンド（前書き）

ネタバレあります。

ルシェル・エルレンド

名前：ルシェル・エルレンド

正式名：ルナ・シエル・ファルナ・コア・リー・デンテ・エルレンド

登場作品：「エルレンド王国記」

性別：男

年齢：（初登場時7歳）メインは17歳

種族：シユナ族と人間のハーフ

世界：ロキオ

身分：エルレンド王国第六王子（のちに第四王子、諜報部最高責任者）、シユナ族の族長

外見：闇のような黒髪に碧眼。黒いネコ科（クロヒョウ）の耳と尾を持つ。

身長：（17歳の時）165cm

特技：武術全般、諜報、暗殺

能力：闇の魔術

好きな事・物：性格の悪い人をおちよぐる事

嫌いな事・物：ネギ類

備考：母親がシユナ族。主に諜報担当。私軍は“^{じくぐん}黒軍”といい、その八割がシユナ族で構成されている。黒豹とも呼ばれる。

レゼル

名前：レゼル

登場作品：「はちみつ色の姫」

性別：オス

年齢：不明（青年の姿の時は外見年齢20歳）

種族：聖獣
（デュロー）

世界：フェルリア

身分：聖獣

外見：銀色の美しい毛並みで同色の羽と額に立派な角がある狼のようないい顎。（青年の姿の時は背中まである銀の髪、金の目）

体長：馬より少し大きいくらい（青年の姿の時は188cm）

特技：風の魔術

能力：魔導

好きな事・物：お茶、お茶に合うお菓子（甘すぎないもの）
嫌いな事・物：人間、水にぬれる事

空の神殿について

担当する神：シャモア

備考：神が暮らす神殿。神々の情報交換の場であったり、休息の地であったりする。全ての神が神殿内に私室を持つているが、使わない神は使わない（特に時間の流れが“空の神殿”よりも速い世界の神は）。シャモアは世界を安定させるために“空の神殿”から出られないらしい。神々は定期的に世界について報告する義務がある。神殿の他はひたすら自然しかなく、神か使徒しか立ち入りが許されていない世界（新たに神となる魂は別）。古代語では“ロアー・ジエ”といい、神々は専らそう呼んでいる。

時間

アーノスと全く同じ。

最高神と冥界の神

最高神と冥界の神は双子である。全世界で一番最初に生まれた生き物であり、当時それ以外は“無”であつたという。彼らに生き物を創る事はできない。全ての生き物は自然に生まれるものだ。

やがて世界ができ、たくさん生き物が生まれた時、それらを管理する必要が生じた。彼らは放つておくと世界をも破滅させるか、自ら自滅するだらう。慈悲深い兄神はできるだけ世界や特定の生き物が滅びないように、時に厳しく管理した。

一方弟神は、死者の管理を買って出た。生き物の世界が生まれると同時にできたもう一つの世界は、死者の魂が向かう世界であった。輪廻転生という言葉がある。

輪廻転生とは、死んだ者がまた生まれ変わり、また来世を生きることだ。

弟神は死んだ魂がきちんと冥界へたどり着けるように、そして生前の行いに見合った場所へ転生できるように管理した。

これが最高神と冥界の神の誕生である。

各世界の神々

何百、何千年も経ち、いつしか世界の数は十を超えた。最高神も、一度に何十もの世界を管理するのは厳しい。そこで、各世界に一人ずつ“管理者”を置く事にした。それが俗に言つ“神”である。

もちろん、誰でもいいというわけではない。自分に近い能力を与えるわけだから、相応の人物でなければならぬ。最高神は厳しく、

慎重に選んだ。

世界は増えるにつれ不安定になり、神は一種の人柱としてなければならぬ存在となつた。神はその存在だけでも“世界の安定”という重要な役割を果たしている。自らの世界にどれだけ干渉するのかは、人それぞれだ。

ちなみに、最高神と冥界の神以外の神は皆元から神であつたわけではないため、一人一人 場合によつては一匹一匹と数える。

能力

不老不死は当然の事、得意不得意はあるものの、全世界に存在する能力を使う事ができる（魔法、超能力、etc…）。また、全ての言語を聞き、話し、書き、読む事も可能。神だけの能力としては、他人に力を与える事ができる。

姿については、魂と力に見合つた外見になる（神になつてすぐは神の体に慣れるまで力もある程度しか使えないため、始めの頃は成長、もしくは退化する事もある）。

神でもできないのは

- 一、生き物を創る事
- 二、死んだ者を生き返らせる事
- 三、時間を操作する事
- 四、神を殺す事（最高神以外）
- 五、冥界に干渉する事（最高神と冥界の神、死神以外）

シャモアによる「転生とトロツプの違い」の解説

まず最初に、神以外の生き物が世界を渡るには魂だけの状態でなければならぬ事を頭に入れておいてほしい。無理矢理連れて来ても、負担がかかりすぎて死んでしまうんだ。魂を体から引き剥がす事もできるけど、精神が狂いかねないからオススメしないね。ごく稀に魂が抜け出てしまっている人がいるけど、そういう魂を異世界へ連れて行つたら体の方だけ死ぬよ。どちらにせよ、体を死なせずには無理だね。普通は。

転生

転生というのは新しい人物として一から生まれ変わる事だよ。当然、姿も能力も名前も変わるし、その世界の理に縛られる事になる。まあ、千歳ちとせの時みたいに十代後半からっていうのもある。でもあれは神限定だし、神としては生まれたてで能力は大して使えないから考えなくていい。

転生は“生き物を創る”のではなく“生き物を作り替える”事だから、僕達には簡単にできる。冥界に行く前の魂を捕まえて自分の世界に引き込めばいいんだから。

神が転生させる理由は暇潰しが圧倒的に多いね。世界を救つてほしい、とかなら悠長に成長するのを待つている暇なんてないんだから

ら。その代わり、相手の希望をできるだけ聞くよ。悪い話じゃないんじやないかな。

トリップ

トリップは転生に比べて数が少ない。条件がややこしいからね。

転生の条件は“魂だけの状態である事”だった。トリップの場合は逆。きちんと体も生きてなければならぬ。

さつき、世界を渡るには魂でないと無理だって言ったよね。トリップは数少ない例外だ。三つのパターンがあつて、いずれかの条件を満たしてなければ死んでしまう。トリップした人は奇跡なんだよ。魔法とか魔術のない世界には行けないよ。

一つ目と二つ目は、空間の歪みに引き込まれる場合。この引き込まれ方で少し変わるんだ。

もし“狭間”^{はざま}と呼ばれる場所に飛ばされてしまったら、元の世界に戻るか違う世界へ行くかを選択できる。違う世界へ行くにしても、転生かトリップを選べるんだよ。“狭間”が何であるのかは長くなりそだから割愛するけど、世界と世界の間にある空間だと思って

くれたらしい。だから、ここを挟んだら負荷が少ないんだよね。

もう一つは、直接異世界へ飛ばされるパターン。これが一番少なくて、最も危険。元いた世界の歪みと異世界の歪みが偶然重なる事で起こる現象だよ。元々“歪み”は頻発にできるものじゃない。それが重なるなんて、早々ある事じゃないのはわかるよね。まあ、神の力である程度は制御できるけど。それに、直接飛んだりしたら負荷がかかりすぎる。負担を軽減するものがないんだから。数千年に一人いるかいなかどうね。耐えられる人は。

そういうわけで、転生とトリップの違いは“体が生きているかどうか”かな。

転生は神でないとできないし、トリップにしたって神が関わった方がより安全に世界を渡れる。だから、世界を渡るなんて芸当は偶然でもない限り、普通の生き物にはできないと思って間違いない。

あ、そうそう。よくある“転生やトリップしたらチートになつた”っていうのは三割くらい申し訳ないなつていう気持ちで、残りはただの暇潰しだつたり。

神様つて暇なんだよ。ずっと寝てる神もいるくらいだし。「こんな能力欲しくなかつた」つづりう人も、ちゃんと仕事やってるんだ

から、これぐらいこまかに許してあげてね。

シャモアヒルの「転生とトコッパーの違い」の解説（後書き）

千歳は転生、梨緒と由希と紫苑はトコッパーです。

……あれ、設定ではトコッパーの方がめずらしげはないのか。

璃寛による「巫女と神子と御子と使徒」の解説

ややこしい事に、 “みこ” というのは三つあるんですね。その三つと、ついでに “使徒” についての解説を任せました。面倒なんで一度しか言いませんから、よく聞いてくださいよ？

巫女と神子

この一つは基本的には同じです。何が違うのかと申しますと、性別ですね。巫女が女性で、神子が男性。ええ、それだけです。どちらも同じにしてほしいものですね。面倒臭い。

巫女や神子は、神が能力を与えた人間などの知的生物の事を差します。身体教科とか魔法の類ですか。ただし、不老不死ではあります。ここ重要ですよ。能力を与えられただけのただの人間（他、魔族や竜人、獣人などの亜人や妖怪類も含む）です。“神のお気に入り” というやつです。飽きられたら能力を奪われる、なんて事もあります。下界での地位は高いようですがね。

特別な能力がある、という以外での見分け方は“紋章”と“外見” でしょうか。

巫女や神子には体のどこかにそれぞれの神をあらわす“紋章”があります。私の場合は蓮の花と霧、千歳さんは月と星だったはずです。

それから、 “神に気に入られたものほど美しくなる” 傾向があります。その世界の神が自分の世界を好きであればあるほど、その世界が輝くという事ですね。これは世界に限った事ではなく特定の人にも言える事でして、巫女や神子が美しくなるのは必然でしょう。

え？ 浮世離れした千歳さんの美貌の秘密ですか？

そりやあ、私が千歳さんを愛していたからですよ。神子ではありますんでしたけどね。生まれてからずっと見てましたし。私は千歳さんを愛しますよ。

ああ、千歳さん恥ずかしいんですか？顔を真っ赤にして林檎のようですよ。かわいらしいですね。その顔で睨んでも怖くないです。私の愛の結晶なんですから。

御子

……とまあ、[冗談はここまでにして、次に“御子”ですね。

御子は神の血縁の事です。ギリシャ神話にあるように、神が他の生き物と恋に落ちることは少なくないんですよ。子供ができるのは滅多にありませんが。

どの世界でも同じなのですが、長寿な種族ほど出生率低いようです。不老不死である神は当然の事、子供なんて中々生まれません。

……ああ、セラーの神はイアンとかいう息子がいましたね。その後も血筋が途絶えないのはすごい事です。神の直接の子供でなくとも“御子”と呼ぶのは紫苑さんを見ていればわかりますよね。

使徒

使徒というのは神の良き友であったり、恋人であったり、げぼ…部下だつたりします。地球の“ギリシャ神話”^{アーネス}に出てくる神々は、皆私の使徒ですよ（笑）。

神は長い時を一人で過ごします。遠い昔、それに耐えられなかつた神様がいたんですね。（ボソッ）……何て軟弱な。

自分の仲の良い人達が死んでゆくのがつらかったそうです。（ボソッ）……なら関わらなければいいのに。

でもまあ、使徒は便利ですね。仕事を全部押し付けて遊んでいられるのも使徒達のおかげです。ええ、感謝していますよ。……米粒ほどには。

使徒の巫女や神子との違いは、不老である事と“空の神殿』『ロアー・ジエ』への立ち入りが許されている事でしょうか。間違つても不死ではありませんよ。不老です。病気にはかかりませんが、殺そうと思えば殺せます。でないと下剋上なんて事にもなりかねませんからね（笑）。

こんなところでしょうか。

本当に“みこ”なんて面倒ですねえ。言つただけではわかりませんし。まあ、“御子”が少なくて“巫女”と“神子”がほぼ同じ意味である事が救いでしそうか。

全く、誰が考えたのやら。

璃寛による「巫女と神子と御子と使徒」の解説（後書き）

作者：すみません、 璃寛さん

アーノスについて

担当する神：璃寛（神としての名はない）
りかん

備考：いわゆる地球。璃寛曰く“地球”といつのは星の名で、世界としては“アーノス”が正しい。人型の種族は人間のみ。科学が発達しているが、特徴と言えるほどではない。強いて言えば“進化”する事が特徴。

時間

- ・ “空の神殿 『ロアード・ジエ』”の一時間＝アーノスの一時間
- ・ 一日＝二十四時間
- ・ 一週間＝七日
- ・ 一ヶ月＝五週間～六週間＝二十九日～三十一日
- ・ 一年＝十二ヶ月＝三百六十五日

レーゼについて

担当する神：ウイスター（本名は千歳）
ちとせ

備考：人型の種族は人間、魔人、神人、竜人、獣人、魚人、エルフ、ダークエルフ、ドワーフ、妖精。魔物や魔法、魔術も存在する。太陽や月の数は地球アーノスと変わらないが、月の色が銀色で一回り大きい。精靈がいて、種族が多いのが特徴。文化的には中世ヨーロッパ。（千歳が神になつた時点）で見てから九十年の一番新しい世界。

時間

- ・ “空の神殿 ≪ロアード・ジエ≫” の一時間＝レーゼの四日
- ・ 一日＝二十四時間
- ・ 一週間＝八日
- ・ 一ヶ月＝四週間＝三十二日
- ・ 一年＝十二ヶ月＝三百八十四日
- ・ 曜日は無し
- ・ 一月、二月……と数える
- ・ 国によって四季はあるが、明確に決まっていない（暑くなつてきたりから夏、など）

種族

- ・人間
地球の人間^{アーノス}とほとんど同じ。違うのは髪や目の色と、魔術が使えるかどうか。尤も、アーノスから来た人間の魔力はかなり高い。
- ・魔人
外見は人間と変わらない。普段出している事は滅多にないが、コウモリのような黒い羽がある。他の種族に比べて魔力が高いが、光属性だけは使えない。
- ・神人
魔人と同じく、外見は人間と変わらない。普段出す事はあまりないが、白い天使のような羽がある。他の種族に比べて魔力が高いが、闇属性だけは使えない。
- ・竜人
人型以外に竜の姿にもなれる。強靭な肉体が特徴。種族に関係なく、強い者は仲間。義理がたい。ドラゴンとは別。魔力が全くない。
- ・獣人
普段は人間に耳や尾などが生えた姿をしているが、竜人のように獸の姿にもなれる。何の獸なのかは、遺伝ではない。魔力が全くない。
- ・エルフ
主に森の中で生活する種族。銀の髪と尖った耳、白い肌が特徴。弓の名手が多く、魔族ほどではないものの魔力が強い。ダークエルフとは犬猿の仲。
- ・ダークエルフ
主に地下で生活する種族。白い髪と尖った耳、褐色の肌が特徴。夜でも昼間のように見える。魔族ほどではないものの魔力が強い。エルフとは犬猿の仲。
- ・ドワーフ

職人気質の者が多い種族。武器や装飾品を作る事にかけて右に出る種族はない。酒好きで平和主義。他の種族に比べて身長が低い。

- ・妖精

魔族の同じく外見は全く変わらず、普段出している事は滅多にないが、薄い四枚の羽がある。十六歳になるまでは中性（男でも女でもない）。精霊と仲が良い。

- ・魚人

水の中で息ができる、自由に動き回れる。他の種族より後に生まれた。力の強い者は水を自由自在に操る。水中では足が魚のものになる（いわゆるマー・メイドのような）。海や川などに住む生き物と会話する事も可能。魚介類は普通に食べる。

魔力の高い順

魔人＝神人 > エルフ＝ダークエルフ > 魔族＝妖精 > 人間 > ドワーフ > 越えられない壁 > 竜人＝獣人

寿命の長い順

魔族＝神人（千） > 竜人（八百） > 魔族＝妖精（二百） > 人間＝獣人（八十）

参考までに、ドラゴンは三千年。

フェルリアについて

担当する神：オル＝セーニヤ

備考：魔^{マギ}技と呼ばれる術を操る魔技人が存在する。また、聖獸と呼ばれる獸が四体あり、神聖だが神よりも身近な生き物として崇められる事も多い。魔法の類いは魔技人や聖獸にしか使えず、文化的には中世ヨーロッパ。外見の美しさが魔^{マナ}力の量に比例するのは、オル＝セーニヤが気に入った者に魔力を与えているから。

時間

- ・ “空の神殿 ≪ロアード・ジエ≫” の一時間＝フェルリアの三日
- ・ 一日＝二十四時間
- ・ 一週間＝五日
- ・ 一ヶ月＝八週間＝四十日
- ・ 一年＝九ヶ月＝三百六十日
- ・ 曜日は火、水、土、金、木

ロキオについて

担当する神：ラウリリアス

備考：魔法の類いは存在しない（加護は別として）。種族は人間とシユナ族と呼ばれる半獣人のみ。そのシユナ族もエルロンド王国にしか住んでいない。文化は中世ヨーロッパ。魔物はいるが、聖獸などは無し。

時間

- ・ “空の神殿 『ロアー・ジエ』” の一時間＝ロキオの一日
- ・ 一日＝二十四時間
- ・ 一週間＝十日
- ・ 一ヶ月＝三週間＝三十日
- ・ 一年＝十一ヶ月＝三百三十日
- ・ 曜日は赤、橙、黄、緑、青、藍、紫、茶、黒、白

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1571s/>

神々の秘密

2011年8月29日09時40分発行